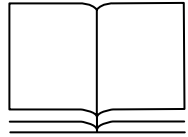


# 取扱説明書

**i**



電気ドリル  
GBM13RE 型



アース不要  
の二重絶縁

このたびは、弊社電気ドリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



**BOSCH**

# 目次

●安全上のご注意	2
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
電気ドリルについての注意事項	7
●本製品について	9
用途	9
各部の名称	9
仕様	10
標準付属品	10
●使い方	11
作業前の準備をする	11
作業する	13
●困ったときは	16
故障かな?と思ったら	16
修理を依頼するときは	17
●お手入れと保管	18
クリーニング	18
先端工具のお手入れ	18
保管	19

ご安全  
注上  
意の

つ本  
製  
い品  
てに

使  
い  
方

困  
っ  
た  
と  
き  
は

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

# 安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

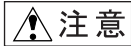
## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




**警告**

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意**

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 電動工具全般についての注意事項

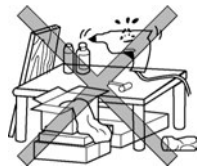
ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた電気ドリルには、当てはまらない項目も含まれています。

# 警告

ご安全  
注意の  
意の

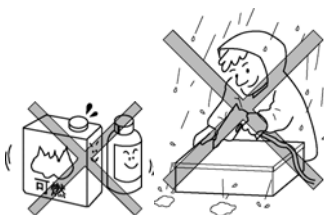
## 1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



## 2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



## 3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

## 4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

## 5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

## 6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

## 7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

## 8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



## 9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

## 10. 防音保護具を着用してください。

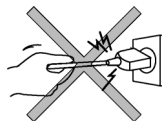
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

## 11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

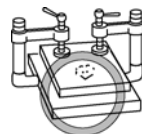
## 12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



## 13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



## 14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

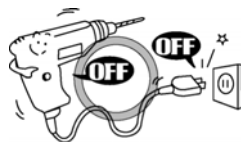


## 15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

## 16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ◆ 使用しない、又は修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



## 17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

## 18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

## 19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## 20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



## 21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。

- ◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



## 22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

## 23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、電気ドリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

### 警告

1. 必ず銘板に表示してある電圧の電源を使用してください。
  - ◆ 表示以外の電圧で使用すると、回転が異常になり、事故の原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。
3. 穴あけ作業中、電気ドリル本体が振り回されることがあります。本体は確実に保持してご使用ください。
  - ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、先端工具や回転部、切りくずなどの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
  - ◆ けがの原因になります。
5. 使用中に電気ドリルの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
  - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具や電気ドリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。



7. 石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。
8. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、電源コードを引っ掛けたりしないでください。
  - ◆ 材料や電気ドリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。



## 注 意

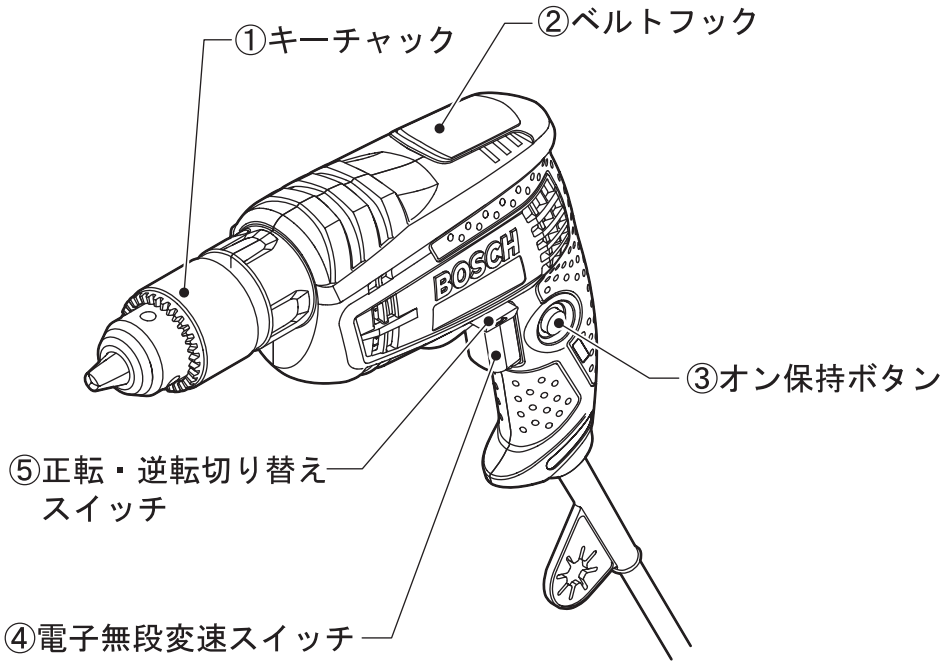
1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後の先端工具、材料、切りくずなどは大変熱くなっていますので、触れないでください。
  - ◆ やけどの原因になります。
4. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ◆ 事故の原因になります。
5. 穴あけ作業など、表示能力内の作業のみにご使用ください。
  - ◆ 表示能力を超える作業をすると、電気ドリル本体に支障をきたすだけでなく、けがの原因になります。
6. 過負荷で回転が止まるような作業は、行わないでください。
  - ◆ 電気ドリル本体に支障をきたすだけでなく、けがの原因になります。

# 本製品について

## 用途

- ◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

## 各部の名称



- ◆ このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

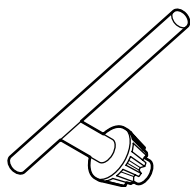
つ本  
製  
品  
てに

## 仕様

型番	GBM13RE
使用電源	単相 AC100V, 50/60 Hz
消費電力（入力）	600 W
チャック形式	
形式	キーチャック
把握範囲	1.5~13 mm
回転数（無負荷時）	0 ~ 2600 min <sup>-1</sup> （回転/分）
電子無段変速機能	有
正転・逆転機能	有
穴あけ能力（最大径）	
鉄 工	13 mm
木 工	30 mm
アルミニウム	13 mm
質量	1.65 Kg

つ本  
製  
品  
てに

## 標準付属品



チャックハンドル

◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

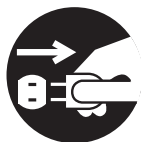
# 使い方

## 作業前の準備をする



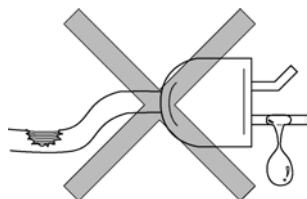
### 警告

- ◆ 作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



## ● 使用電源を点検する

- 単相 交流 100 V (50/60 Hz) か？
- コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していたりしていないか？

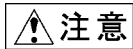
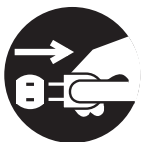


## ● 先端工具を取り付ける・取り外す



### 警告

- ◆ けがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜き、先端工具の取り付け・取り外し作業をしてください。

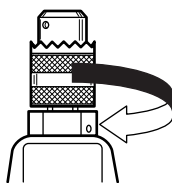


### 注意

- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

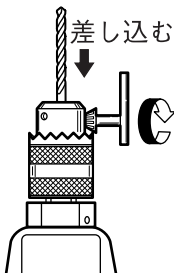
## 取り付け

1. キーチャック①を矢印の方向に回して緩めます。



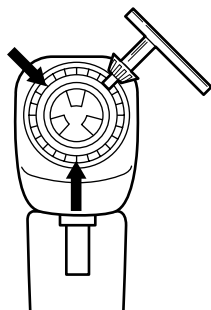
2. 先端工具をチャックに差し込みます。

3. チャックハンドル（標準付属品）をキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回してチャックを締めます。

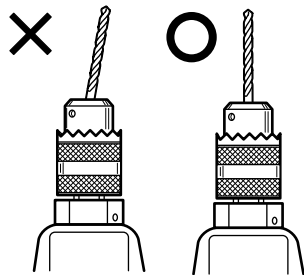


キーチャック外周にはチャックハンドルを差し込む穴が3つあります。3か所で均等に締めてください。

3か所で締めないと、先端工具のつかみ具合が不十分になります。



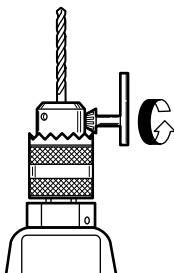
4. キーチャック①のつめが先端工具を均等につかんでいることを確かめます。



## 取り外し

1. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを回してチャックを緩めます。

2. キーチャック①から先端工具を抜き取ります。

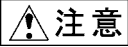


## 作業する



**警告**

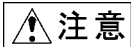
- ◆ 「電子無段変速スイッチ④」が引き込まれていたり、いっぱいまで引き込まれた（オン保持）状態になっていないことを確かめてから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。



**注意**

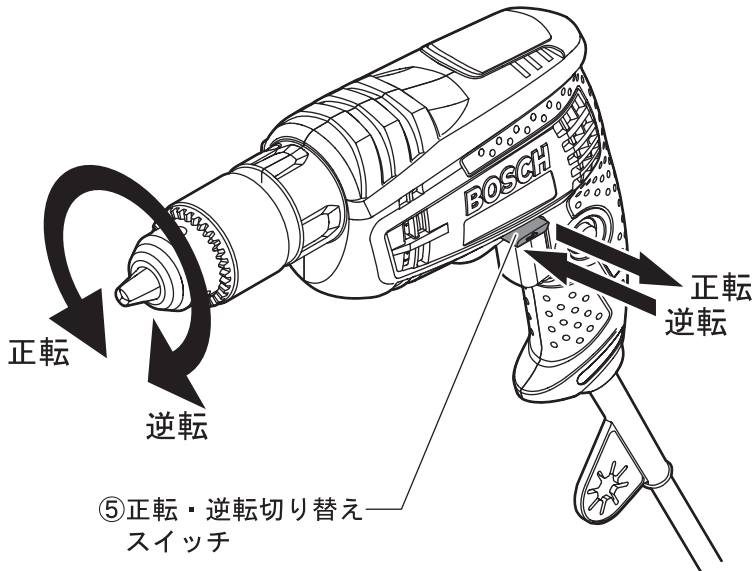
- ◆ ベルトフック②を使用するときは、腰ベルトにしっかり引っ掛け、本体の落下に注意してください。落下すると事故の原因になります。

### 1 「正転・逆転切り替えスイッチ⑤」を切り替える



**注意**

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で「正転・逆転切り替えスイッチ⑤」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ④」を引き込んでいるときに、「正転・逆転切り替えスイッチ⑤」は切り替えないでください。



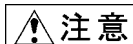
### 2 電源プラグを電源コンセントに差し込む

### 3 「電子無段変速スイッチ④」を操作する



警告

- ◆ 穴あけ作業中、電気ドリル本体が振り回されることがあります。本体は確実に保持してご使用ください。確実に保持しないと、けがの原因になります。
- ◆ 作業中は常に、電気ドリル本体より後方に電源コードがくるようにしてください。電源コードが回転部に巻き込まれると事故の原因になります。



注意

- ◆ 作業時、無理に電気ドリル本体を押しつけて回転数を大幅に低下させるようなことはしないでください。先端工具を傷めて作業効率が下がったり、本体が故障したりします。
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。

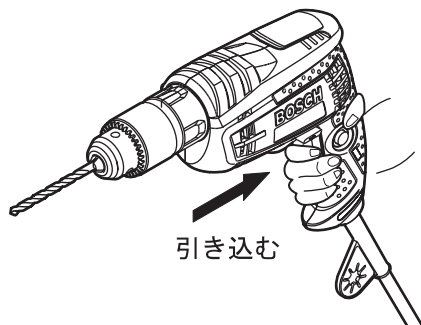
使  
い  
方

#### スイッチの ON/OFF

スイッチ ON : 「電子無段変速スイッチ④」を引き込みます

スイッチ OFF : 「電子無段変速スイッチ④」から指を離します

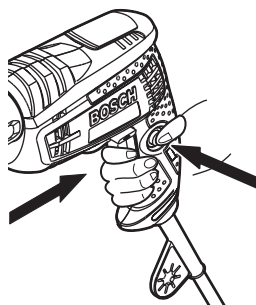
1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ④」をゆっくり引き込みます。



- ☞ 「電子無段変速スイッチ④」の引き込む加減で、回転数が調節できます。
- ☞ 電気ドリル本体が熱くなったときは、「電子無段変速スイッチ④」をいっぱいまで引き込み、3分間ほど空転（無負荷運転）させてモーターを冷やしてください。
- ☞ 金属への穴あけ時、穴があく瞬間に若干電気ドリル本体を押しつける力をめくと、振り回されてけがをする危険が少なくなります。
- ☞ 大口径の穴あけは、まず小さい穴をあけておいてから行うとより簡単になります。

## 連続作業のとき

1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ④」をいっぱいまで引き込みます。
3. 引き込んだ状態で「オン保持ボタン③」を押します。
4. 「電子無段変速スイッチ④」から指を離します。
5. 「オン保持ボタン③」から指を離します。



- ☞ 止めるときは、再度「電子無段変速スイッチ④」を引き込んで指を離してください。
- ☞ 電気ドリル本体が熱くなったときは、「電子無段変速スイッチ④」をいっぱいまで引き込み、3分間ほど空転（無負荷運転）させてモーターを冷やしてください。



# 困ったときは

## 故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ④」を引き込んで、回らない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに差し込む
	電源コードが断線している	修理を依頼する
	スイッチが故障している	修理を依頼する
「電子無段変速スイッチ④」が引き込めない	「正転・逆転切り替えスイッチ⑤」が中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
回ったまま、止まらない	「電子無段変速スイッチ④」がいっぱいまで引き込まれた（オン保持）状態になっている	「電子無段変速スイッチ④」を再度引き込んで指を離し、オン保持状態を解除する
穴あけなどに時間がかかる（穴があかない）	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	使用電源の電圧が低い	100Vの電源を使う
	「正転・逆転切り替えスイッチ⑤」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転切り替えスイッチ⑤」を“正転”の位置に切り替える
先端工具が挿入できない	チャック内に異物がつまっている	異物を取り除く

困ったときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様の使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

株式会社バンテックゼットロジ内

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

# お手入れと保管



**警告**

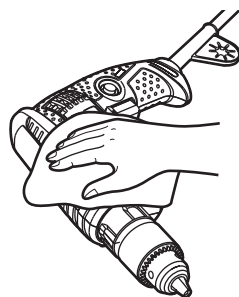
◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



## クリーニング

- 通風口やチャックなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



## 先端工具のお手入れ

- 摩耗している鉄工用ドリルビットを研磨する  
(別売ドリルビットシャープナーを使う)



**警告**

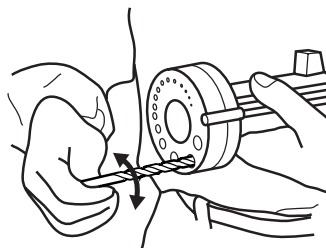
◆ 別売ドリルビットシャープナーで鉄工用ドリルビットを研磨するときは、穴あけ時と同じように通電するので、注意して作業してください。

ドリルビットシャープナー

品番：S41 型

交換砥石：S41 型用

品番：2 608 600 029

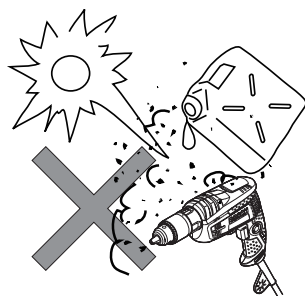


- 20 サイズ (2.5~10 mmφ) の鉄工用ドリルビットを簡易研磨できます。

☞ ドリルビットシャープナーの使い方につきましては、付属の説明書をお読みください。

## ● ドリルを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



# BOSCH

**ボッシュ株式会社** 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

\*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤル  
のご利用はできませんのでご了承ください。

GBM13RE